

こゝにまた甚だ概歎に堪へない所でありました。本件に關しおいては、聯盟及  
總同盟、海員組合、海員協会、官勞總同盟の間に促進委員を設置し申  
合せが十一月三日に行はれたのであります。將來之求を如何にするかは本大会に  
於て決定したと思ひます。

其の他工務規則に關する要求事項、即ち中途退場者に対する貸銭支  
給の件、疾病のため十五週間を越へて休業する場合の解僱規定改正  
の件、同籍の子の忌引に対する貸銭支給の件等は何れも解決を見  
ることが出来なかつたのであります。

要するに要求決議事項の實現は極めて一部分の成功を納め得たのみ  
で重要な諸問題を何れも將來に持ち越さねばならなくなつたことは  
甚だ本意を多き次第でありますが、一敗の勇を鼓して邁進努力し  
たいと思ひます。

三、人 事

第十回國際勞働總會勞働代表顧問として、本聯盟より送致せし前  
舞鶴共立会執行委員島田良藏氏は多數の得票を以て顧問に當選、  
四月十日代表と共に總會に出席のため渡歐、七月三十日任を果せしむる  
銀朝せしめられました。

三月上旬、吳海工会及廣工療会の役員改選並に平塚總愛会への加入に依り  
たの通り聯盟役員に異動がなされました。

- 中央委員 吳海工会長 宮崎繁市 (常務理事委員)
  - 中央委員 廣工療会常務理事 刈野利一 (中央委員)
  - 中央委員 平塚總愛会執行委員長 辻村二郎 (中央委員)
- 左田吉之助氏の後任常務中央委員は欠員中のところ、四月十日中央委員会に於て  
左の通り決定